

のみだより

2013
6月議会
定例会
第37号

能美市議会報告番組
『なるほど議会』始まります



番組の詳細はP10の議会活性化の取り組みコーナーをご覧ください。

● 定例会報告	2
● 一般質問	3
● 委員会報告	9
● 議会活性化の取り組み	10
● 討論	11
● 議会日誌(4月～6月)	12

発行日：平成25年8月1日
発行：能美市議会
編集：広報特別委員会

〒923-1297 能美市議会事務局
石川県能美市来丸町1110番地

TEL：(0761) 58-2240
FAX：(0761) 58-2295
E-mail：gikai@city.nomi.lg.jp
<http://www.city.nomi.ishikawa.jp>



平成25年第2回

定例会報告

(会期：平成25年6月3日～6月21日)

議会議案 1 件を含む議案25件を可決しました

第2回定例会において、歳入歳出それぞれ18億6,100万円を追加し予算の総額を239億4,100万円とする平成25年度能美市一般会計補正予算（第1号）をはじめ、議案24件を可決しました。また、議会議案1件を可決し、『TPP交渉における国民的議論の実施と政権公約6項目を遵守することを求める意見書』を国の関係機関に提出することとなりました。

審査結果一覧

	議案名	採決結果	付託委員会	委員会採決結果
議案 (24件)	32号 能美市ふれあいプラザ条例を廃止する条例について	◎	教	◎
	33号 能美市都市下水路条例を廃止する条例について	◎	産	◎
	34号 能美市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	◎	総	◎
	35号 能美市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	◎	総	◎
	36号 能美市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	◎	総	◎
	37号 能美市防災センター条例の一部を改正する条例について	◎	総	◎
	38号 能美市営駐車場条例の一部を改正する条例について	◎	総	◎
	39号 能美市の適正な土地利用に関する条例等の一部を改正する条例について	◎	産	◎
	40号 能美市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	◎	教	◎
	41号 能美市根上総合文化会館条例の一部を改正する条例について	◎	教	◎
	42号 市道路線の認定及び変更について	○	産	○
	43号 能美市土地利用計画の策定について	◎	産	◎
	44号 平成25年度能美市一般会計補正予算(第1号)	○	総・産・教	◎・○・○
	45号 平成25年度能美市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	◎	教	◎
	46号 平成25年度能美市水道事業会計補正予算(第1号)	◎	産	◎
	47号 平成25年度能美市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	◎	産	◎
	48号 専決処分の報告について(能美市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて)	◎	総	◎
	49号 専決処分の報告について(能美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて)	◎	教	◎
	50号 専決処分の報告について(平成24年度能美市一般会計補正予算(第6号))	○	総・産・教	◎・○・◎
	51号 専決処分の報告について(平成24年度能美市介護保険特別会計補正予算(第3号))	○	教	○
	52号 専決処分の報告について(平成24年度能美市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号))	◎	産	◎
	53号 専決処分の報告について(平成24年度能美市温泉事業特別会計補正予算(第1号))	◎	産	◎
	54号 専決処分の報告について(平成24年度国民健康保険能美市立病院事業会計補正予算(第4号))	◎	教	◎
	55号 工事請負契約の締結について(宮竹保育園新築工事(建築))	◎	教	◎
報告 (6件)	2号 議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	報告のみ		
	3号 平成24年度能美市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告のみ		
	4号 平成24年度能美市農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告のみ		
	5号 平成24年度能美市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告のみ		
	6号 平成24年度能美市工業用水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告のみ		
	7号 平成24年度能美市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告のみ		
議会議案 (1件)	8号 TPP交渉における国民的議論の実施と政権公約6項目を遵守することを求める意見書	◎	付託委員会なし	
請願 (2件)	4号 TPPへの参加に反対する請願	×(不採択)	産	×(不採択)
	5号 年金2.5%削減中止を求める請願	×(不採択)	教	×(不採択)

※ 採決結果 (◎：全会一致で可決されたもの、○：賛成多数で可決されたもの、×：賛成少数で否決されたもの)

※ 付託委員会 (総：総務常任委員会、産：産業経済常任委員会、教：教育福祉常任委員会)



志政会

北村 國博 議員



親しみやすく、
利用しやすい市民ホールの
あり方を検討せよ

Q 能美市役所1階市民ホールの有効活用を図れ

親しみやすい空間にレイアウトするとともに、無線LANのインターネット環境を整備し、年中無休で市民に開放してはどうか。

A ミニギャラリーとして活用したい（市長）

行政事務に支障がないことを前提に検討する。年中無休の開放やインターネット環境の整備等は先進地事例を参考にしたい。

Q 辰口フラワーハウス跡地の活用策を迅速に図れ

川北大橋の無料化により、いしかわ動物園周辺などの加賀産業開発道路沿線は活況を呈している。フラワーハウス跡地をどのように活用するのか、スピード感を持って対処すべきである。

A 周辺地域や関係団体と協議し方針を決めていく（市長）

沿線の土地利用ニーズの上昇が予想される。跡地は辰口温泉などの主要な観光施設付近にあるが、跡地全体のエリアが農振農用地となっていることなど大きな課題もあり、どのようにクリアできるのか、今は問題を整理している。

Q 辰口フラワーハウス跡地を市のアンテナショップに

平成26年の九谷茶碗まつりの陶芸村開催、平成27年の北陸新幹線金沢開業を考えれば、金沢駅から陶芸村までの直近ルートは加賀産業開発道路になるはずである。跡地を市のアンテナショップ的なシンボルにすべきではないか。

A 課題もあるが、目指す方向路線は同じである（市長）

精一杯スピード感を持って対応していきたい。



▲市民ホールの有効活用で親しみやすい空間に

能政会

米田 敏勝 議員



新根上南部保育園への
交通アクセスについて

Q 新根上南部保育園への交通アクセスについて現状と今後の整備方針を問う

現南部保育園と山口保育園を統合した新根上南部保育園が平成26年度に開園する。周辺には道林高坂線などが整備されているが浜町方面から通園する場合の交通アクセスが充分でないように考える。市の見解を問う。

A 浜町公民館前より新南部保育園へのバイパス道を新設（産業建設部長）

新根上南部保育園へのメインアクセスは、市道道林高坂線となる。浜町方面からの交通アクセスの内、1本の市道については道路側溝の有蓋化が行われていない部分もある。今後は幅員6メートルで道路側溝を有蓋化した道路として早期に整備をしたい。具体的には

平成27年度までに計画区間800メートルの整備を完了したい。

Q 市内公園や広場の遊具改修についてその整備計画を問う

近年、市内公園や広場の遊具に老朽化が目立っており、早期の遊具改修を図り子供達の安全を確保することが必要であると考えている。

また、公園長寿命計画について具体的にその概要及び今後の対応を示せ。

A 長期的視点で適切な公園管理を行う（産業建設部長）

能美市内では72の公園において177の遊具などの施設を点検し、その内27基の遊具については点検後速やかに撤去、使用禁止、緊急補修の措置を講じた。今後長期的な視点に立った適切な公園管理に心がけ、市民の憩いの場として提供できるよう努めていきたい。



▲整備計画区間の未舗装道路（道林町、浜町地内）

能政会

倉元 正順 議員



認知症予防や介護予防に
有効な施策を図れ

Q 認知症予防にタッチパネル
方式の導入は

高齢者が在宅で自立した生活を
送れるよう、介護予防に力点がお
かれ、認知症や脳卒中になる人を
減らす活動がされている。認知症
の早期発見のための有効なもの
として開発されたタッチパネル方
式がある。このタッチパネル方式
を導入してはどうか。

A 全国の普及状況を見ながら
検討する（健康福祉部長）

介護認定者の約7割の方が軽度
の認知症の症状があり、今後も増
加する。市では「認知症ガイド
ブック」を活用した取り組みを進
めており、「タッチパネル方式」
の導入については、これからの普
及状況を見ながら、必要に応じて
検討していく。

Q のびのび高齢者プランの第
5期における認知症などの
介護予防の成果は

介護予防に係る成果は、短期間
であらわれるものではなく、さま
ざまな教室などの取り組みからで
あるが、どのような成果が表れて
いるか。

A 運動習慣の重要性から、
「貯筋通帳」の活用を積極
的に勧める（健康福祉部長）

「のみ活倶楽部」の活動をきつ
かけに、介護普及啓発講座の参加
者が増加し、毎日の歩数などを記
録する貯筋通帳の活用で、血圧等
の改善が見られ、運動することで
体力向上につながっている。町内
会等身近な地域での認知症予防の
取り組みを、市民と協働の健康づ
くり運動に発展させたい。



▲のみ活倶楽部の活動

※タッチパネル方式：タッチパネル式コンピュータを用いた検査。1次検査に図形認識などがある。

絆

田中 策次郎 議員



子育て支援策を問う

Q 子育て中の方の公共施設等
利用の利便性に配慮を

庁舎の窓口前に待ち時間に子ど
もが遊べるキッズスペースや、公
園のトイレや公的施設でオムツ替
えの台や授乳場所など、子育てに
配慮した設備を望む。

A 窓口前のキッズスペースや
子育て支援の設備を前向き
に検討（市長）

能美市を子育てに優しい地域と
してアピールする良い提案であり、
子育て世代が多く利用する施設か
ら設置の検討を進める。市民にも
親しまれ出生率の向上につながる
事にも期待。

Q 新たに建設する子育て支援
センターに利用者の思いを

子育て中の方がいつでも互いに
話しあえる居場所であり、使いや

すい施設となるよう利用者と市が
一緒に考え作り上げてはどうか。

A 土曜開館を検討。サークルの
皆さんと一緒に考えていく
（健康福祉部長）

仕事を持つ方々の利用も考え、
土曜開館を検討し使い勝手の良い
建物となるよう利用者の皆さんと
検討会等を設けていく。

Q 能美市の男女共同参画の推
進状況は

市の審議会の女性委員の推進や
町会の女性役員起用に市が支援し
ながら進める必要があるのでは。

A 市男女共同参画推進プラン
の目標達成を目指す（市長）

関係各課が審議会等の女性委員
の登用を推進するよう周知徹底を
図り、町会にも繰り返し啓発をし
女性の役員参画を進めて頂けるよ
うお願いする。



▲大住ふれあいセンターを
視察（京都府京田辺市）

北野 哲 議員



特産物の振興を強化せよ

Q 丸いも、ハトムギ、カボチャの生産振興の強化を

農家の高齢化、担い手不足、生産資材の高騰等により農業環境は厳しくなっている。その中、水田転作作物としての丸いも、ハトムギ、カボチャは特に市の地域振興作物として、生産と消費拡大策を大いに進めて欲しいが、対策を問う。

A J A等と連携し、色々な角度で検討する（市長）

国の補助事業のほか、市独自の地域振興作物助成事業や、機械購入の補助もあり、消費拡大、担い手対策としてJ A等農業関係機関と連携し、技術指導、研修支援、農機貸付体制の構築、農地の幹旋、加工品の試作、商品化をしている。今後、ホームページやイベントを通じて、PRに努めていきたい。

Q 小学校での食育の対応と児童の関心は

食育を通して心身ともに健全な発達を進めてもらいたいけどどんな意識が認められるのか。また給食材料に地場産を優先的に採用しているか。アレルギー児童の対応は万全か。給食費の不払い状況を問う。

A 地場食材を優先に採用し、食の関心を深めている（教育長）

教育活動全体を通し、食育を推進している。御飯は市内産を使用し、農政課の補助を受けている。アレルギー児童に対しては保険調査票に基づき、保護者と対応している。給食費の不払いについては学校と対象家庭とが相談し、納付に努めている。



▲加賀丸いも

嵐 昭夫 議員



市の資産を健全な状態で次世代に引き継ぐのは現世代の責務だ

Q ライフサイクルコストを把握、資産管理の実施、情報公開を

市民の安全確保のため、施設の耐震化や大規模改修等で機能強化を図り、実施年次計画、財政計画等のインフラ予定白書の情報公開をすべきだ。

A 平成27年までに、特定建築物の耐震化率90%を目標とする（市長）

重要性や利用状況などを総合的に判断、優先度を検討し効率的、効果的なコストを把握した、資産管理は大変に重要な課題であり、その方向で進める。温泉保養館クアハウス九谷は新たな指定管理者に変更、公募の際の条件など、検討している。他施設で予防的な工事で機能強化の施策も、今後充分に検討し、進めていきたい。

Q 風疹の予防接種費助成で、赤ちゃんを守る緊急対策を

市内で抗体のない方は何人位いるか。検査やワクチン接種費用の助成を検討し、患者を出さない、赤ちゃんを守る対策を積極的に実施せよ。

A 費用の一部5,800円を助成、2年間の接種期間とする（健康福祉部長）

全国的には20代から40代男性で15%の人が抗体を持つておらず、市も同様に想定すると1,500人を推定している。感染症対策及び、風疹症候群を予防するため、予防接種費用の一部を助成する。今年4月1日にさかのぼり行い、7月1日から事業をスタートし、2年間を実施期間とする。また、必要な人への情報提供にも重点を置き、個別相談にも対応していく。



▲クアハウス九谷

日本共産党

近藤 啓子 議員



お金がなくても安心して
医者にかかれる保障を

Q 低額無料診療の位置づけを
高め、周知と拡大を図れ

社会福祉法に基づき実施される
無料低額診療の制度がある。

能美市では寺井病院が行っており、1年間で390万円余りが減免されている。しかし院外処方は対象にならず、薬代の負担が発生している。『何よりも命を守る』視点で、制度の周知、徹底を進めるべきでないか。制度上対象外となる調剤薬局での薬代の助成を進めるべきでないか。

A 生命の平等、円滑な受診に
重要な制度と認識（健康福祉部長）

受療権を守るためにも、相談窓口だけでなく、民生委員、児童委員、社会福祉協議会にも制度の周知を図っていく。調剤薬局への適応に向け、関係機関に制度改正を要望

することを検討していく。
他の福祉制度と連携し対応を図ることを基本とし、薬剤費助成は考えていない。

Q 保育園、児童館への交通安全
全対策を

寺井中央児童館前の道路には、歩道がなく危険である。加害者、被害者を生まない対策が必要である。豊美保育園、粟生保育園など交通安全対策を具体的に進めよ。

A 関係機関と協議し事故防止
策を進める（健康福祉部長）

施設があることの告知看板については、関係機関と協議したい。徐行を促す看板は既に設置済みである。走行速度を意図的に抑制させる段差舗装は、除雪など種々の懸念される問題を含め、検討、具体化し、事故の防止に努める。



▲寺井中央児童館前の道路

日本共産党

山口 慧子 議員



負担を軽くし、市民の暮らしと子育て応援を進めてもらいたい

Q 国保税引き下げの継続を
求める

国保会計は国・県の補助金と国保税で成り立っており、能美市の負担はない。国の補助金削減が保険料に跳ね返る。国に補助金を元に戻すよう求めよ。

保険税は今後も一般会計からの繰り入れで引き下げを継続せよ。

A 精一杯の経営努力をしていく
（市長）

今後の状況を見て現状維持、あるいは精一杯の経営努力もして、引きあげないように、むしろ減額できないかと思っている。

国庫補助金の負担割合の引き上げは、石川県市長会等あらゆる機会を通じて強く国に要望していく。

Q 常勤保育士を大幅増員して
安心できる保育園に

子どもの命を預かる市内保育園116クラス中、半数を超す61クラスで臨時保育士が担任、または正規保育士を1名だけ配置し、あとは臨時やパートという複数担任制をとっている。この実態をどう見ているのか。これでいいと考えているのか。

臨時保育士に正規保育士と同じ責任を負わせていいのか。

改善は考えているのか。正規保育士を増やして、市が率先して安定的な雇用を作っていくべき。

A 保育園職員すべてを正規に
するのは財政的にも難しい
（健康福祉部長）

臨時職員のクラスは、原則正規職員が指導計画書を作成している。研修会等で保育士をレベルアップしている。今後も非正規職員の待遇面は改善していきたい。



▲安心できる子育て環境の整備を

居村 清二 議員



辰口中央児童館の建設について

Q 辰口中央児童館の建設計画を問う

辰口町とその周辺町会の地区には児童館がない。辰口中央小学校区の児童館建設及び放課後児童クラブ整備に関する嘆願書が提出されており、辰口図書館や博物館周辺の文化ゾーンでの位置づけが地元の総意である。能美市は合併以来、積極的な児童館建設を展開しているが、辰口中央児童館建設の時期、場所はどうか。

A 辰口図書館周辺を視野に入れた計画（健康福祉部長）

1小学校区に1児童館という形で、小学校区に児童館がない地区から整備を進めており、保育園の統廃合計画と辰口中学校の講堂建設が完了した後に建設を予定し、現時点では28年度実施設計、29年度に工事実施予定である。

Q 防災センターと消防本部、消防署の体制を問う

防災センター全体の運営管理をどうしていくのか。また、防災センター竣工後の各分署の体制の整備や、広域事務組合の中で川北町との連携をどう図っていくのか。

A 最適な仕組みや運用ルールを検討（総務部長）

防災体験学習や救急体験などの機能と消防機能を有した複合的施設として整備し、一体的な管理運営ができるよう検討したい。また、消防力の低下を招かないよう消防体制の見直しが必要となるが、広域事務組合議会の中で検討されることになる。川北町との連携については防災センター建設後も、協議しながら進めていきたい。



▲辰口図書館及び博物館周辺（のみでん広場）

南山 修一 議員



自治基本条例の制定を期待

Q 自治基本条例の準備は

平成19年3月に第一次能美市総合計画が策定され、その期間は10年間となっている。市長任期満了と符合する。自治体運営に関する基本原則を定める条例は、自治体憲法の策定という意味合いであり、自治基本条例素案が作成されることに大いに期待したい。この4年間で、能美市の市勢進展にとって試金石である。

A 市民との合意を前提に必要な性を見極める（市長）

総合計画の策定は必要である。自治基本条例の制定は、市民との合意を前提に必要な性を見極め、議会とも検討を重ねていきたい。また、憲法、法律との整合性の問題など、いろいろの問題点も指摘されているので、慎重に検討したい。

Q 類似公共施設の統廃合と地域活性化について

岩内保育園、辰口フラワーハウス、旧辰口保育園及び旧北日本産業跡地に関して、具体的な利活用計画並びに今後の土地利用計画も現時点では不明であり、頻繁に係者からどうなるのかと聞かれる。これからの施設利活用に関して、これまでどのように取り組み、今後どのような方策をとるのか。

A 統合授産施設を検討（副市長）

北日本産業跡の建物の一部は、市有備品の保管倉庫として使用している。今後、福祉ゾーンとして新しい統合授産施設を検討している。西側の空き地は、数区画に分割の上、売却したい。今後とも類似公共施設の統廃合に全力で取り組みたい。



▲エコステーションのみ（北日本産業跡：宮竹町）

喜 政 会

橋本 崇史 議員



機動的な財政出動を生かし、地域活性化を

Q 新たに整備する九谷陶芸村の今後について問う

九谷三館の年間来客数は年々減少の一途をたどっている。地域の元氣臨時交付金を使った今回の整備によってハード面の環境は整ったが、今後ソフト事業に力を入れていかなければ地域活性化は図れない。全国的なPRも含めて全国大陶器市を新たに整備する九谷陶芸村に誘致してはどうか。

A 伝統産業の機能集約拠点として有効活用していきたい
(産業建設部長)

新たに整備する敷地内で来年から九谷茶碗まつりを行うことになっている。また九谷産業界は、じめ、市民参加型の催し物を通年的に開催していきたい。全国大陶器市についても能美市を大いにPRする機会として検討する。

Q 能美市の将来を見据えた人口増加策について問う

現状、能美市は緩やかに人口増加しているが、将来的には緩やかに人口が減少すると推計されている。市として具体的な対策はしているのか。

A 企業誘致や教育福祉、住環境施策など総合的なまちづくりが人口増加につながる
(市民生活部長)

若い世代が居住地を選ぶ要因は、生活や子育て環境が優れていることや就労環境に恵まれていることが重要である。定住促進策を市役所全体の重点課題に挙げ、部課横断型でのプロジェクトチームを発足させ施策の精査と運動に取り組んでいる。



▲九谷茶碗まつり

公 明

青山 利明 議員



ペンの暴力など、大人社会からいじめ撲滅の取り組みが必要

Q 能美市いじめ等防止条例の制定をせよ

全ての人はかけがえのない一人の人間として尊重されなければならない。いじめは基本的人権侵害の根源である。いじめる側が100%悪い。基本的人権を侵害することを許さない社会を構築する。このことを10年、20年継続して教えていく。そして、人の親となり子どもへ伝えていく。そのことが明るい住みよい社会づくり、世界平和となる。市民と行政が一体となり市民運動を展開し、市民の意識改革で子どもから大人までのあらゆるいじめ問題の撲滅をせよ。

A いじめ等追放宣言や条例など勉強したい(市長)

いじめはさまざまな人権侵害の根源的なものであり、理由の如何にかかわらず、いじめる行為自体

が悪い。福祉総合支援センターで総合相談やこころの相談受付など行っている。これらの充実強化と周知を図ることによりいじめを始めとした人権侵害に取り組みたい。児童相談所への連携、教育委員会と寺井警察署との間で生徒指導面やメール等でのいじめや暴力行為DVなどの情報交換を行っている。

Q JR寺井駅周辺に桜の植樹を行い桜の名所とせよ

桜は平和の象徴。北陸新幹線金沢開業、周辺整備事業完成を記念して能美電桜フェスティバルとあわせて、毎年、記念行事を開催せよ。

A 地域の皆様の知恵でにぎわいの創出につなげたい
(産業建設部長)



▲花見だよ能登さくら駅(能登鹿島駅)

総務常任委員会

委員長：嵐 昭夫 副委員長：南山 修一
委員：杉田 隆一、金森 修栄、橋本 崇史

委員会における質疑応答

Q コンベンション等誘致促進事業の誘致実績はどうであったか。また、利用客にアンケートをとり、能美市へのリピーターとなってもらえるような施策を推進せよ。

A 昨年度で述べ4,400人あまりの利用客が能美市を訪れた。アンケートを取り、今後の施策の充実、推進につなげたい。

Q 定住促進制度の主な改正点で、他市に比べ能美市の制度が特に優れている点はどのようなところにあるか。

A 他の自治体は住宅の取得にかかる借入金をベースに補助金額が算定されている。能美市の定住促進制度は、借入金の有無や所得要件を問わず、市民となられたことに対する定額助成である。

Q 近年増加している空き家対策の具体的な取り組み内容は。

A 空き家対策については、行政だけが空き家への定

住を誘導するのではなく、それぞれの地域が積極的な受け入れ体制を整えていただけるよう、定住と空き家対策をつなぎ合わせる取り組みを展開していく。

Q 高齢化や、空き家が増えているのは里山だけか。

A 中山間地域は高齢化率や空き家率は高い方だが、他地域でも進んでいるのが実態である。

定住促進制度の主な改正点

項目	改正前	改正後
交付対象世帯	夫婦それぞれの年齢が40歳未満	建築主の年齢が45歳未満の世帯
交付要件	住宅取得の借入金額、所得制限などあり	借入金の有無、所得要件を問わず

産業経済常任委員会

委員長：北野 哲 副委員長：北村 國博
委員：明福 憲一、山口 慧子、倉元 正順、居村 清二

委員会における質疑応答

Q 能美市の適正な土地利用に関する条例等の一部を改正する条例で、新たな特別工業地区を追加した理由は？

A 「いしかわサイエンスパーク」の将来構想に基づいた適正な土地利用を推進するため、キャバレーやダンスホール、ホテル・旅館等の建築を規制するものである。

Q 経営体育成事業の対象とは？また、事業に採択されるポイントとは？

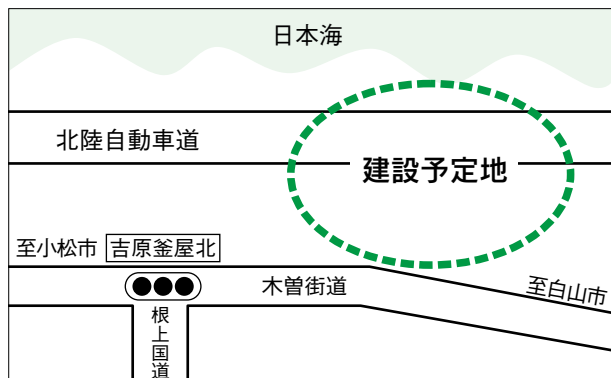
A 「人・農地プラン」に位置づけられている個人及び団体を対象とし、50万円以上の機械を購入する場合の補助を行うものである。採択されるポイントは、事業内容に「農業経営の法人化」や「農産物の高付加価値化」など6つの項目のうち2つの項目が含まれた場合に採択となる。

Q (仮称) 能美根上スマートインターチェンジができることによる経済波及効果の数値を求める。

A 地元町内会からの要望や市内企業の流通環境整備など総合的視野に立ち事業を進めている。数値化は様々な視点からの考察が必要であり、早急な対応は難しいが今後検討したい。

Q 市道火釜13号線の道路改良について急勾配な道路であるが、消雪装置を設置するのか？

A 消雪までは考えていないが、舗装の仕上げで対応し十分な安全対策を行う。



▲(仮称) 能美根上スマートインターチェンジ建設予定地

教育福祉常任委員会

委員長：米田 敏勝 副委員長：青山 利明
委員：荒田 正信、井出 善昭、近藤 啓子
田中策次郎

委員会における質疑応答

Q ふれあいプラザが廃止される。介護予防教室が亀齢荘で開催されることになるが十分なスペースを確保出来るのか。また、生涯学習の場についてはどこで行うことになるのか。

A 介護予防教室については、亀齢荘での実施を予定している。以前大規模改修工事によりエレベーターを設置し、利用しやすい環境をつくり、部屋数を増やしたため余裕がある。生涯学習活動については寺井地区公民館を予定しており、商工会の移転に伴う改修後は会議室も増え十分対応が可能である。

Q 元気高齢者報奨事業の内容と、事業の対象となる方の年齢はいつか。

A 介護保険料を負担しながらも介護保険サービスを利用せず元気に過されている方へ長年の健康維持の努力に報い記念品を贈呈するものである。対象者は85才になる方とし、これまで介護保険を一度も受けず過去1年間10日以上入院が無

い方で平成25年度初年度は85歳以上全ての方550名あまりである。平成26年度以降は85才になる方とするものである。

Q 病児保育センター事業について。働く保護者を支援する大事な事業でありその内容は。

A 専門スタッフの看護師保育士による看護保育を行い定員は6名。利用時間については午前8時30分から午後5時30分までを予定しており、今後検討しながら事業の準備を進めていきたい。



▲病児保育事業に整備を待つテイスサービスセンター白寿（建物1階部分で病児保育事業を行う予定）

議会活性化への取り組みについて

議会報告番組『なるほど議会』 始めました

『分りやすい議会番組をお茶の間に提供する』ことを目指して、能美市議会議員と議会事務局職員が共に制作した議会報告番組が新たにスタートしました。

番組名は『なるほど議会』。定例会の内容を振り返り、能美市議会がどのような取り組みを行っている場であるかをコンパクトにご紹介します。

今回制作した番組は、既に㈱テレビ小松のケーブルテレビで放送されましたが、同番組は今後、能美市HPからのインターネット配信も予定しておりますので、皆さまぜひご覧ください。

今後、毎定例会終了後に『なるほど議会』を制作していきたいと思いますので、お楽しみに。



▲『なるほど議会』の収録に励む事務局職員

お知らせ

第3回定例会の日程が決まりました。

- ・ 8月26日(月) 午前10時
議案上程、提案理由の説明
- ・ 9月 4日(水) 午前10時
一般質問
- ・ 9月 5日(木) 午前10時
一般質問、委員会付託
- ・ 9月20日(金) 午前11時
委員長報告、討論、採決

ぜひ傍聴に
お越し下さい!

市役所本庁舎
3階議場



山口 慧子 議員（日本共産党）

反対

市民の声や意見を聞いて進めるべき

（仮称）能美根上スマートインターチェンジ建設は、地域にどれだけ経済的波及効果があるのか、地域がどれだけ活性化するかを数字で明らかにし、市民の声や意見を聞いて進めるべき。

新幹線の金沢以西延伸は、在来線の利便性や運行経費の負担など多くの問題点が指摘されている。開業当初から年2億円の赤字が出る事が明らかで、並行在来線になると運賃は上がる。消費税増

税で更なる値上げと、観光客の誘客にも影響が出てくる。

生活保護システム改修事業費は、8月からの生活保護基準の引き下げに対応するためのもの。私も日本共産党は、生活保護基準の引き下げは中止し、生活保護改悪法はなくすべきだとの立場。

高堂寺井線道路改良事業は、根強い反対の声があることや地元の合意も得られなかったと言えない。小学校・保育園児も通行する。危険性が増す道路はつくるべきではない。

金森 修栄 議員（自由倶楽部）

賛成

住みよさランキング全国第19位に躍進

当初予算が骨格予算であったため、平成25年度補正予算は18億6千万円あまりとなった。また、国の平成24年度2月の大型補正が15ヶ月予算として編成された。

景気浮揚もあり、今回の能美市の補正予算は、当初計上が見送られていた一部の政策的事業が中心となった。財源としては財政調整基金から7億6百万円弱を繰り入れており、歳入的には厳しい

状況にあるといえるが、先に成立した当初予算が早々に実行され、地域経済の活力につながることを期待する。

先日の新聞報道によると、能美市が全国789市と東京23区を対象とした『住みよさランキング2013年版』で、前年の210位から19位に大躍進したとあった。広がる生活圏の条件も加味されているが、医療福祉や定住促進、安心・安全が実感できるまちづくりの成果が出てきているといえる。

これから、さまざまな施策に取り組まれることを願い、上程された議案に賛成の意を表する。

長年にわたる功労を称えて

全国市議会議長会及び北信越市議会議長会において、長年にわたる地方自治の功労を称えて、次の方々が表彰されました。

全国市議会議長会表彰及び 北信越市議会議長会表彰

- | | |
|----|----------------|
| 明福 | 憲一 議員（在職20年以上） |
| 金森 | 修栄 議員（在職15年以上） |
| 荒田 | 正信 議員（在職15年以上） |
| 北村 | 國博 議員（在職10年以上） |



▲前列左から：北村議員、明福議員、金森議員、荒田議員
後列左から：東議長、倉元副議長

こんな活動しています

総務…総務常任委員会	全協…議会全員協議会	活性化…議会活性化特別委員会
産経…産業経済常任委員会	広報…広報特別委員会	基地…基地対策特別委員会
教福…教育福祉常任委員会	地域…地域活性化特別委員会	能美IC…能美インターチェンジ特別委員会
議運…議会運営委員会	環境…環境対策特別委員会	

4月

- 4日 北信越市議会議長会定期総会（正副議長）
- 9日 議運（平成25年第2回定例会 会期日程）
全協（〃）
広報（36号発行の編集作業）
- 16日 活性化（議会基本条例）
広報（36号発行の編集作業）
- 17日 教福（各課からの報告事項）
- 22日 環境（新年度の取り組み）
- 23日 総務（各課からの報告事項）
- 26日 産経（各課からの報告事項）
- 30日 能美IC（現地視察：建設予定地）

5月

- 2日 地域（能美市の二次交通について）
- 9日 議運（会派の意見集約）
- 13日 教福（根上南部保育園）
議運（議会基本条例、一問一答）
全協（〃）
- 15日 総務（類似公共施設統廃合対象施設の状況）
- 17日 産経（現地視察：九谷陶芸村）
- 20日～22日
教福視察（発達支援システム：湖南省、いじめ等防止条例：小野市 他）
- 22日 全国市議会議長会定期総会（議長）
- 28日 議運（平成25年第2回定例会 会期日程）
全協（〃）

6月

- 3日 議運（議事日程）
全協（〃）
本会議（開会、議案上程、提案理由説明）
- 5日 議運（一般質問通告）
- 10日 地域（能美市の二次交通について）
活性化（議会基本条例、能美市議会報道番組）
- 12日 議運（議事日程）
全協（〃）
本会議（一般質問）
- 13日 本会議（一般質問、質疑、委員会付託）
- 14日 総務（付託案件の審査）
- 17日 教福（〃）
- 18日 産経（〃）
- 20日 議運（閉会中の継続審査）
全協（〃）
- 21日 議運（議事日程）
全協（〃）
本会議（委員長報告、質疑、討論、採決、閉会）

ご意見・ご感想

『のみだより』へのご意見・ご感想や能美市議会へのご意見などございましたら、下記の宛先までお寄せください。

【宛先・お問合せ】

能美市議会事務局

〒923-1297 能美市来丸町1110番地
T E L : (0761) 58-2240
F A X : (0761) 58-2295
E-mail : gikai@city.nomi.lg.jp

編集後記

先日、宮竹保育園新築工事の起工式に参加しました。統廃合により、新しい保育園が次々と出来る事は子育て環境の向上など、能美市にとって素晴らしいことです。

また東洋経済新報社の2013年の「住みよさランキング」で能美市が前年の210位から19位に順位を上げました。能美市の住みよさをPRすることにおいて、非

常にありがたいことであり、能美市の定住促進につながられるように努力していきます。

今回の一般質問の傍聴には、100名を超える方にお越しいただきました。今後も更にくささんの方にお越しいただけるように、分りやすく開かれた議会となるよう努力して参ります。

（橋本 崇史）

広報特別委員会 委員長：南山 修一 副委員長：北野 哲 委員：青山 利明、金森 修栄、北村 國博、田中策次郎、橋本 崇史